

## Q 県が目指す国民健康保険の統一 保険料についての町の考えは

### A 一元化は必要と考える。町民負担に ならぬよう注視する



浅野富男議員

では保険料率の決定は市町村とされているため、市町村一般会計からの法定外繰入、いわゆる赤字の保険者を除き、特に影響はない。

## 総合的な学習の 時間の支援に する対応は

し対応していきたい。学習の時間の支援を実施し、小中学生の健全育成に寄与するとともに、自衛隊に対する理解と認識を深めることである。県教育委員会が自然体験を必要とする学校もあると考える依頼を受けたと判断している。町教育委員会として、県教育委員会の依頼に基づき、小中学校へ配付した。なお、町内の学校での応募予定はない。

**問** 県は平成36年度を目標に統一保険料を目指す方針であるが、このことについての町の考えは。

**町長** 人口減少により国民健康保険加入者は年々減少しているが、一人当たりの医療費は増加している。住民の健康や安心・安全を守る上で国民皆保険は将来にわたり安定的に維持されなければならぬものであることから、県で一元化を図ることは必要であると考え、統一保険料の枠については、実現までには様々な課題があることから、町民の負担にならないよう、今後の動きを注視

**問** 総合的な学習の時間の支援について、自衛隊福島地方協力本部作成の「南極の氷体験校募集」案内と県教育委員会作成の「総合的な学習の時間の支援について」という依頼文書が市町村の教育長宛てに配布された。自衛隊による教育の介入にあたりと考えるが、町教育委員会としてどのような対応をとるのか。

依頼の目的は、南極氷を使用した総合的な

**問** 今年度から国民健康保険は都道府県が担うことになる。町民の健康と医療について県が責任を負う形になる。国保税の算定はどのようなされるか。

いない。ただ、国保制度改革により、県に納める国保事業納付金に特定健診等の費用を足し、その他公費で措置される分を差し引いた額が必要保険税総額となる。よって、標準保険料率の算定も税率の算定も、同じ考え方により導かれる。

**課長** 福島県で昨年11月に策定した「福島県国民健康保険運営方針」は、県及び市町村国保特別会計の財政運営や、医療費の適正化、保険料の標準的算定の考え方、保険料の徴収の適正化、保険給付の適正な実施、市町村事務の標準化などの運営方針を定めている。現段階

**課長** 標準保険料率そのものは税算定には用いて

より導かれる。

標準化などの運営方針を定めている。現段階

の負担にならないよう、今後の動きを注視

依頼の目的は、南極氷を使用した総合的な



総合学習のようす

# 人口増加への取り組みを学ぶ

平成30年5月29日から6月1日までの3日間、九州へ議員視察研修に行ってきました。1日目は、長崎県内で唯一人口が増え続けている大村市に行き、人口増加の要因や具体的な取り組みなどについて説明を受けました。2日目は長崎県雲仙市へ表敬訪問いたしました。3日目は熊本県熊本市で被災した熊本城の様子を視察しました。



大村市役所で詳しい説明を受けました

1日目は、長崎県内で唯一人口が増え続けている大村市へ、人口増加の理由や施策を学んできました。長崎県のほぼ中央に位置する大村市は、人口約9万6千人で、現在までの約40年間で約3万4千人が増加しています。人口増加の主な要因として、大きく3点挙げられます。1点目は、自然の豊かさ

と都会の便利さがあり、住みやすい条件がバランスよく整っていることです。大村市は、交通のアクセスが良く、長崎空港から約15分で行くことができ、新幹線や高速道路も整備されています。また、医療機関が充実し、買い物がいやしく、自然の遊び場が豊富です。2点目は、土地や賃貸物件が安いことで、近隣市のベッドタウンともなっていました。3点目は、下水道普及や子育て環境の充実など、他自治体に先行して取り組んできた街のイメージがあることです。また、移住施策に関するターゲットとして、「20〜30代の子育て世代」の方、「就学前の子どものママ」に絞り、人口10万人に向けて支援では、2人目以降の子



雲仙市議会の皆さんとの懇談のようす

どもの保育料の無料化、児童の医療費助成など子育てしやすい環境づくりに力を入れていることが、人口増加の主な要因となっていると思われました。2日目は、長崎県雲仙市へ表敬訪問をいたしました。現在は合併され雲仙市

となった旧国見町とは以前から交流があり、東日本大震災時にも義援金を頂いたため、そのお礼と現在の当町の復旧・復興状況を報告してまいりました。改めてお礼を伝えることができ、本心に良かったと思います。3日目は、一昨年の熊本地震で被害にあった熊本城を視察しました。天守閣までが傾き、石垣が崩れ手が付けられないままであり、甚大な被害であったことを目の当たりにしました。熊本城全体が再建するには約20年かかるそうです。

(報告者 阿部泰藏)